

## 第11回 環境放射能除染研究発表会

### 発表プログラムおよびセレモニー

学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りします。  
(都合により一部テーマと内容が不一致な部分があります)

	9:30～ 開会式	
	10:00～11:30 口頭発表 (中ホール-zoom room1 集会室-zoom room2)	
8月24日 (水)	12:30～13:30 ポスター発表 (展示室)	
	13:45～15:15 口頭発表 (中ホール-zoom room1 集会室-zoom room2)	
	15:30～ 企画セッション1 (~17:30 中ホール-zoom room1)	

### 環境放射能除染研究発表会開会式(中ホール-zoom room1)

9:30	開会	除染学会
	開会挨拶	

### セッション1 10:00～11:30(中ホール-zoom room1) 減容化技術

座長：佐藤 理夫(福島大学)

10:00	S1-1	焼却残渣の熱的溶融処理で発生する飛灰の洗浄基礎試験結果	○有馬 謙一(国立環境研究所),三浦拓也(国立環境研究所),小田俊司(中間貯蔵・環境安全事業株式会社),當間久夫(中間貯蔵・環境安全事業株式会社),今井啓祐(中間貯蔵・環境安全事業株式会社),遠藤和人(国立環境研究所),大迫政浩(国立環境研究所)
10:15	S1-2	灰洗浄・イオンクロマトグラフィ濃縮に用いる吸着材の性能評価の試み	○山田 一夫(国立環境研究所),市川恒樹(北海道大学),三浦拓也(福島工業高等専門学校),遠藤和人(国立環境研究所),大迫政浩(国立環境研究所)
10:30	S1-3	土壌改質材が分級に与える影響	○佐藤 友祐(三和テッキ株式会社),岩田 光司(三和テッキ株式会社),齋藤 貴広(三和テッキ株式会社),穴澤 由香(福島大学),佐藤 理夫(福島大学)
10:45	S1-4	熱減容風選別技術による放射性セシウム汚染土壌の磁選効率	○佐藤 友祐(三和テッキ株式会社),岩田 光司(三和テッキ株式会社),齋藤 貴広(三和テッキ株式会社),地井 直行(西松建設株式会社),阿部 孝行(西松建設株式会社),三苫 好治(県立広島大学)
11:00	S1-5	イオン交換クロマトグラフィーによる放射性セシウム除去に用いた使用済みフェロシアン化銅吸着剤の各種固定化処理	○市川 恒樹(北海道大学),東條 安匡(北海道大学),山田 一夫(国立環境研究所)
11:15	S1-6	マイクロバブル浮選による粘性土中の2:1型粘土鉱物の分離	○日下 英史(京都大学 エネルギー科学研究科),富田 基暉(京都大学 エネルギー科学研究科),辻本 宏(鹿島建設株式会社)

### セッション2 10:00～11:30(集会室-zoom room2) 核種の固化

座長：万福 裕造(農研機構 農業環境変動研究センター)

10:00	S2-1	福島第一原子力発電所由来の難固定化核種のハイブリッド固化と安全性評価に関する研究(1)プロジェクト概要とスコープ	○中瀬 正彦(東京工業大学),針貝美樹(東京工業大学),渡邊真太(東京工業大学),牧涼介(岡山理科大学),菊永英寿(東北大学),小林徹(原子力機構),桜木 智史(原環センター),浜田涼(岡山理科大学),朝野英一(原環センター)
10:15	S2-2	福島第一原子力発電所由来の難固定化核種のハイブリッド固化と安全性評価に関する研究 (2)	○牧 涼介(岡山理科大学),中瀬正彦(東京工業大学),針貝美樹(東京工業大学),渡邊真太(東京工業大学),菊永英寿(東北大学),小林徹(日本原子力研究開発機構),桜木智史(原子力環境放電プラズマ焼結 (SPS) を用いたハイブリッド固化体の迅速固化処理
10:30	S2-3	福島第一原子力発電所由来の難固定化核種のハイブリッド固化と安全性評価に関する研究(3)ハイブリッドHIP固化による難固定核種の閉じ込め技術の検討	○桜木 智史(原子力環境整備促進・資金管理センター),浜田 涼(原子力環境整備促進・資金管理センター),朝野 英一(原子力環境整備促進・資金管理センター),中瀬 正彦(東工大),渡邊真太(東工大),針貝 美樹(東工大),牧 涼介(岡山理科大),菊永 英寿(東北大),小林 徹(JAEA)
10:45	S2-4	福島第一原子力発電所由来の難固定化核種のハイブリッド固化と安全性評価に関する研究(4)処分概念及び安全評価の予備検討	○浜田 涼(原子力環境整備促進・資金管理センター),桜木智史(原子力環境整備促進・資金管理センター),朝野英一(原子力環境整備促進・資金管理センター),中瀬正彦(東京工業大学),針貝美樹(東京工業大学),渡邊真太(東京工業大学),牧涼介(岡山理科大学),菊永英寿(東北大学),小林徹(JAEA)
11:00	S2-5	汚染土壌中のセシウム固定化機構の解明と減容化技術の開発(1)～放射性セシウムの脱離から回収へ～	○田村 堅志(物質・材料研究機構),渡邊 雄二郎(法政大学),佐久間 博(物質・材料研究機構),端 健二郎(物質・材料研究機構),小暮 敏博(東京大学),山岸 皓彦(物質・材料研究機構)
11:15	S2-6	汚染土壌中のセシウム固定化機構の解明と減容化技術の開発(2)～放射性セシウムの回収と固定化～	○渡邊 雄二郎(法政大学),田村堅志(物質・材料研究機構),森山里咲(法政大学),田岡奈那子(法政大学),金田健(法政大学),小暮敏博(東京大学)

### 11:30～12:30 昼 休 憩

12:30~13:30		ポスターセッション (展示室 - web)
P1-1	特定復興再生拠点区域における除染・解体作業に伴うダストに含まれる <sup>137</sup> Csの環境動態	○平良 文亨(長崎大学原爆後障害医療研究所),松尾 政彦(長崎大学原爆後障害医療研究所),折田 真紀子(長崎大学原爆後障害医療研究所),松永 妃都美(長崎大学原爆後障害医療研究所),高村 昇(長崎大学原爆後障害医療研究所),平尾 茂一(福島大学環境放射能研究所)
P1-2	旧避難区域における落葉堆肥の分解中の放射性セシウム量変化	○高田 モモ(産業技術総合研究所),保高 徹生(産業技術総合研究所)
P1-3	調理による野生山菜・キノコ中放射性セシウムの低減効果	○高木麻衣(国立環境研究所),渡邊未来(国立環境研究所),玉置雅紀(国立環境研究所),林誠二(国立環境研究所)
P1-4	感情認識AIによる処理水に関する記事の分析	○大谷 浩樹,福田美羽,間宮蒼萌,齋藤彩奈,富松裕太,荻崎賢太郎,高松鈴木
P1-5	浜通りにおける産業政策・拠点整備データベースの設計と現況分析	○大西 悟(国立環境研究所),辻岳史(国立環境研究所),中村省吾(国立環境研究所),大場真(東北工業大学),平野勇二郎(国立環境研究所),浅原みゆき(資源循環ネットワーク),五味馨(国立環境研究所),土井 麻記子(エックス都市研究所),塚本 祐樹(アジア航測)
P1-6	福島県で発生した建設系廃棄物の処理処分に伴う放射性セシウムの移動量の推計 (その2)	○山田 正人(国研) 国立環境研究所,立尾 浩一(一財) 日本環境衛生センター,国分宏城(福島県環境創造センター)
P1-7	廃液再利用のための循環合成から見るポリサイト合成条件とそのリークテスト	○岡 ひかり(福島県立福島高校),穴戸愛菜(福島県立福島高校),橋輝星(福島県立福島高校),大橋弘範(福島大学),小針淳(福島県立福島高校)
P1-8	共存イオン比とイオン選択係数がCs吸着能評価に与える影響	○三浦 拓也(福島工業高等専門学校),山田一夫(国立環境研究所),市川恒樹(北海道大学),遠藤和人(国立環境研究所),大迫政浩(国立環境研究所)
P1-9	放射性セシウムに着目した県外最終処分の施設大成性: システム設計及び数学モデル検討	○三成 映理子(国立環境研究所),山田一夫(国立環境研究所),遠藤和人(国立環境研究所),大迫政浩(国立環境研究所)
P1-10	改質除去土壌を用いたライシメーター試験の解体前後の比較	○莫 嘉麟(国立研究開発法人国立環境研究所),遠藤和人,新井裕之(国立研究開発法人国立環境研究所)
P1-11	放射性セシウム含有モルデナイトから転換したANA型ゼオライトの水酸アパタイト被覆	○田岡 奈那子(法政大学),金田健(法政大学),田村堅志(物質・材料研究機構),渡邊雄二郎(法政大学)
P1-12	溶融スラグの再生利用技術の実証 (その5: コンクリート用細骨材への適用に関する試験結果)	○堀江 裕貴(大林組),光本純(大林組),石田知子(大林組),柴田健司(大林組),八塩晶子(大林組),日笠山徹己(大林組),小野義広(日鉄エンジニアリング),永山貴志(クボタ環境エンジニアリング)
P1-13	ナトリウムとカリウムがポリサイトの水熱合成に与える影響と合成ポリサイトのセシウム固定化物質としての評価	○田渡 琉音(福島大学),梅津裕義(福島大学),高久遼介(福島大学),大橋弘範(福島大学)
P1-14	大熊町の環境回復作業時の大気中放射性セシウム濃度の変動解明	○平尾 茂一(福島大学 環境放射能研究所)
P1-15	乾式磁性分級法における模擬汚染土壌の分級効率に与える焼成温度の影響	○荒川 和香(県立広島大学大学院総合学術研究科),三苫好治(県立広島大学大学院総合学術研究科),奥田哲士(龍谷大学先端理工学部),水原詞治(龍谷大学先端理工学部),片山裕美(八戸工業大学工学部),澤田剛(鹿児島大学先端科学研究推進センター)
P1-16	焼却飛灰からの <sup>90</sup> Sr溶出率測定と溶出機構に関する考察	○由井 和子(国立環境研究所),倉持 秀敏(国立環境研究所),大迫政浩(国立環境研究所)
P1-17	放電プラズマ焼結 (SPS) 法によるシンロック固化体の迅速固化処理	○丸山恵史(東京都市大学),野村知司(東京都市大学),牧涼介(岡山理科大学),中瀬正彦(東京工業大学),針貝美樹(東京工業大学),渡邊真太(東京工業大学),菊永英寿(東北大学),小林徹(日本原子力研究開発機構),桜木智史(原子力環境整備促進資金管理センター),浜田涼(原子力環境整備促進資金管理センター),朝野英一(原子力環境整備促進資金管理センター)
P1-18	福島県森林域の空間線量率及び立木放射性セシウム濃度の経時変化	○山村 充(国土防災技術株式会社),氏家亨(国土防災技術株式会社),井上美那(国土防災技術株式会社),赤間亮夫(国土防災技術株式会社)
P1-19	超構造を有するムラタイト基シンロック固化体の合成	○牧 涼介(岡山理科大学),草野圭弘(岡山理科大学)
P1-20	除去土壌等仮置場跡地の利用における被ばく線量評価	○日下部 一晃(福島県環境創造センター),小磯将広(福島県環境創造センター),野村直希(福井工業大学),井上正(一財) 電力中央研究所)
P1-21	小型流動床式燃焼試験装置の開発と木質燃焼における放射性Csの挙動	○倉持 秀敏(国立環境研究所),村沢 直治(福島県環境創造センター),日下部 一晃(福島県環境創造センター),小林 拓朗(国立環境研究所)
P1-22	原子力災害被災地域の環境記憶デジタルアーカイブ構築への取り組み	○保高 徹生(産業技術総合研究所),リヒンキ(産業技術総合研究所),高田モモ(産業技術総合研究所),藤田司(産業技術総合研究所),金井裕美子(産業技術総合研究所),坂原桜子(神戸大学),長野宇規(神戸大学),北尾馨(Cube Works inc.)
P1-23	県外最終処分に関する社会受容性と取り組むべき課題に関する一考察	○保高 徹生(産業技術総合研究所),高田モモ(産業技術総合研究所),大沼進(北海道大学),村上道夫(大阪大学感染症総合教育研究拠点)
P1-24	FIB-TOF-SIMS による植物石への Cs 吸着の可視化	○川杉 昂大(工学院大学大学院工学研究科電気・電子工学専攻),森田真人(工学院大学先端工学部応用物理学科),坂本哲夫(工学院大学大学院工学研究科電気・電子工学専攻)

13:30~13:45

休憩

セッション3 13:45~15:15(中ホール-zoom room1) 高度除染技術

座長：山田 正人(国立研究開発法人国立環境研究所)

13:45	S3-1	車載型CWシングルモードファイバーレーザー除染機の整備と実地試験	○峰原 英介(LDD株式会社),平山貴浩(株式会社日本遮蔽技研),小菅 淳(JAEA)
14:00	S3-2	単純塩化物溶液と模擬汚染水からモルタルへのCsとSrの浸透の違い	○山田 一夫(国立環境研究所),東條安匡(北海道大学),富田さゆり((株)太平洋コンサルタント),栗飯原はるか(日本原子力研究開発機構),五十嵐豪(東京大学),細川佳史(太平洋セメント),丸山一平(東京大学)
14:15	S3-3	模擬汚染水からひび割れた不飽和モルタルへのCsとSrの浸透評価	○山田 一夫(国立環境研究所),檜森恵大(北海道大学),東條安匡(北海道大学),富田さゆり(太平洋コンサルタント),栗飯原はるか(日本原子力研究開発機構),五十嵐豪(東京大学),細川佳史(太平洋セメント),丸山一平(東京大学)
14:30	S3-4	炭酸カルシウムとのカラム共晶析による地下水混入破損原子炉冷却水からの放射性ストロンチウム連続除去	○市川 恒樹(北海道大学),山田 一夫(国立環境研究所)
14:45	S3-5	国土数値情報などを利用した森林内天地返しによる線量低減効果の詳細シミュレーション	○宮田壘(京都大学工学研究科),米田稔(京都大学工学研究科),島田洋子(京都大学工学研究科),福谷哲(京都大学複合原子力科学研究所),高橋知之(元京都大学),曾我部陽平(日本コン
15:00	S3-6	表面に放射性物質が濃縮した試料の濃度プロファイルを評価するためのイメージングプレートによるオートラジオグラフィの取得方法	○檜森 恵大(北海道大学),山田一夫(国立環境研究所),東條安匡(北海道大学)

セッション4 13:45~15:15(集会室-zoom room2) 復興への後押し

座長：川崎 興太(福島大学)

13:45	S4-1	木質燃料利用施設での放射性Cs移行挙動調査結果報告(その1:調査)	○村沢 直治(福島県環境創造センター),日下部一晃(福島県環境創造センター),倉持秀敏(国立環境研究所),万福裕造(農業・食品産業技術総合研究機構)
14:00	S4-2	木質燃料利用施設での放射性Cs移行挙動調査結果報告(その2:解析)	○倉持 秀敏(国立環境研究所),村沢 直治(福島県環境創造センター),日下部 一晃(福島県環境創造センター),万福 裕造(農業・食品産業技術総合研究機構)
14:15	S4-3	人工被覆面に沈着したCs-137の屋内空間線量率への影響に関する解析	○須藤 慎仁(東北大学大学院),小林 光(東北大学大学院),大槻 謙太郎(東北大学大学院)
14:30	S4-4	中間貯蔵施設立地地域における社会的景観の可視化の試み	○坂原 桜子(神戸大学大学院農学研究科),長野宇規(神戸大学大学院農学研究科),保高徹生(産業技術総合研究所),高田モモ(産業技術総合研究所),金井裕美子(産業技術総合研究所)
14:45	S4-5	UAV(ドローン)に用いる放射線測定装置の検討	○神徳 敬(株式会社大林組),松 亮佑(株式会社大林組),門田 直恵(株式会社大林組),大槻 宗司(未来技研株式会社),高橋 正二(未来技研株式会社),豊田 亘博(未来技研株式会社),荒井英臣(株式会社菊池製作所),百瀬 翔(株式会社菊池製作所)
15:00	S4-6	福島原発の放射能汚染による「ALPS処理水」問題に対する行政側への「ナッジ」の機能とアプローチの検討	○中山 敬太

15:30~17:30 企画セッション1 (中ホール-zoom room1)

【記念企画】

2022年度 学会表彰及び表彰者特別講演

学術賞・有効賞・奨励賞の受賞者から、表彰対象となった研究・技術開発成果等についての講演

9:30~11:30 企画セッション2 (中ホール-zoom room1) 口頭発表 (集会室-zoom room2)  
 8月25日 (木) 12:30~13:30 ポスター発表  
 14:00~17:00 企画セッション3 (中ホール-zoom room1)

9:30~  
 11:30 企画セッション2 (大ホール-zoom room1)

中間貯蔵施設周辺復興地域の  
 融合的な環境再生・環境創生に向けて

1. 海外招聘講演(動画講演、日本語字幕付き予定)

「Remediation Strategy and Process for Areas Affected  
 by Past Activities or Events」(仮題)

Catrinel Turcanu, Ph.D.(ベルギー原子力研究センター)

2. 環境研究総合推進費・戦略的研究開発(Ⅱ)(S2-9)の紹介

遠藤和人(国立環境研究所)、他

3. 総合討論「帰還困難区域の今後の方向性について」

万福裕造(農業・食品産業技術総合研究機構)、他

セッション5 9:30~11:30(集会室-zoom room2) 帰還に向けた地域整備

座長：河津 賢澄(福島大学)

9:30	S5-1	水平電極式動電法による森林除染の検討 壤中イオン移動解析と電極材料評価	～土 ～	○佐藤 理夫(福島大学),カピール ムハムドゥル(秋田大学),佐藤 友祐(三和テッキ (株)), 齋藤 貴広(三和テッキ (株)),岩田 光司(三和テッキ (株)),原野 翔平(福島大学),大槻 壮 平(福島大学)
9:45	S5-2	被災地における発災10年後の人工被覆面Cs- 137深度分布調査		○大槻 謙太郎(東北大学大学院),小林 光(東北大学大学院),須藤 慎仁(東北大学大学院)
10:00	S5-3	Phitsによる森林エッジ部の空間線量率変動の基 礎的解析		○原田 茂樹(福島大学 食農学類),高橋正二(高橋科学)
10:15	S5-4	栃の葉のアク抜き時における放射性セシウムの 移行挙動の分析		○大橋 弘範(福島大学),梅津 裕義(福島大学),菅野 諒(福島大学)
10:30	S5-5	放射性Csを含む副生炭化物の利用に関する基礎 的検討		○織邊 尚子(株式会社フジタ),横山 茂輝(株式会社フジタ),久保田 洋(株式会社フジタ), 袋 昭太(株式会社フジタ),中野 和典(日本大学工学部)
10:45	S5-6	帰還困難区域の除染に関する検討課題		○川崎 興太(福島大学)
11:00	S5-7	再生可能エネルギー先駆けの地に向けた10年の 歩み		○佐藤 理夫(福島大学共生システム理工学類)
11:15	S5-8	嫌気性処理技術による汚染牧草の減量効果およ び放射性セシウムの溶出挙動		○呉 江(国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域),小林拓朗(国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環領域),高橋勇介(国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環 領域),倉持秀敏(国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域)

11:30~12:30

昼 休 憩

12:30~13:30		ポスターセッション (展示室- web)
P1-1	特定復興再生拠点区域における除染・解体作業に伴うダストに含まれる137Csの環境動態	○平良 文亨(長崎大学原爆後障害医療研究所),松尾 政彦(長崎大学原爆後障害医療研究所),折田 真紀子(長崎大学原爆後障害医療研究所),松永 妃都美(長崎大学原爆後障害医療研究所),高村 昇(長崎大学原爆後障害医療研究所),平尾 茂一(福島大学環境放射能研究所)
P1-2	旧避難区域における落葉堆肥の分解中の放射性セシウム量変化	○高田 モモ(産業技術総合研究所),保高 徹生(産業技術総合研究所)
P1-3	調理による野生山菜・キノコ中放射性セシウムの低減効果	○高木麻衣(国立環境研究所),渡邊未来(国立環境研究所),玉置雅紀(国立環境研究所),林誠二(国立環境研究所)
P1-4	感情認識AIによる処理水に関する記事の分析	○大谷 浩樹,福田美羽,間宮蒼萌,齋藤彩奈,畠松裕太,笠崎賢太郎,高松鈴木
P1-5	浜通りにおける産業政策・拠点整備データベースの設計と現況分析	○大西 悟(国立環境研究所),辻岳史(国立環境研究所),中村省吾(国立環境研究所),大場真(東北工業大学),平野勇二郎(国立環境研究所),浅原みゆき(資源循環ネットワーク),五味馨(国立環境研究所),土井 麻記子(エックス都市研究所),塚本 祐樹(アジア航測)
P1-6	福島県で発生した建設系廃棄物の処理処分に伴う放射性セシウムの移動量の推計 (その2)	○山田 正人(国研 国立環境研究所),立尾 浩一(一財) 日本環境衛生センター,国分宏城(福島県環境創造センター)
P1-7	廃液再利用のための循環合成から見るポルサイト合成条件とそのリークテスト	○岡 ひかり(福島県立福島高校),穴戸愛菜(福島県立福島高校),橋輝星(福島県立福島高校),大橋弘範(福島大学),小針淳(福島県立福島高校)
P1-8	共存イオン比とイオン選択係数がCs吸着能評価に与える影響	○三浦 拓也(福島工業高等専門学校),山田一夫(国立環境研究所),市川恒樹(北海道大学),遠藤和人(国立環境研究所),大迫政浩(国立環境研究所)
P1-9	放射性セシウムに着目した県外最終処分の施設成立性：システム設計及び数学モデル検討	○三成 映理子(国立環境研究所),山田一夫(国立環境研究所),遠藤和人(国立環境研究所),大迫政浩(国立環境研究所)
P1-10	改質除去土壌を用いたライシメーター試験の解体前後の比較	○莫 嘉麟(国立研究開発法人国立環境研究所),遠藤和人,新井裕之(国立研究開発法人国立環境研究所)
P1-11	放射性セシウム含有モルデナイトから転換したANA型ゼオライトの水酸アパタイト被覆	○田岡 奈那子(法政大学),金田健(法政大学),田村堅志(物質・材料研究機構),渡邊雄二郎(法政大学)
P1-12	溶融スラグの再生利用技術の実証 (その5: コンクリート用細骨材への適用に関する試験結果)	○堀江 裕貴(大林組),光本純(大林組),石田知子(大林組),柴田健司(大林組),八塩晶子(大林組),日笠山徹己(大林組),小野義広(日鉄エンジニアリング),永山貴志(クボタ環境エンジニアリング)
P1-13	ナトリウムとカリウムがポルサイトの水熱合成に与える影響と合成ポルサイトのセシウム固定化物質としての評価	○田渡 琉音(福島大学),梅津裕義(福島大学),高久遼介(福島大学),大橋弘範(福島大学)
P1-14	大熊町の環境回復作業時の大気中放射性セシウム濃度の変動解明	○平尾 茂一(福島大学 環境放射能研究所)
P1-15	乾式磁性分級法における模擬汚染土壌の分級効率に与える焼成温度の影響	○荒川 和香(県立広島大学大学院総合学術研究科),三苫好治(県立広島大学大学院総合学術研究科),奥田哲士(龍谷大学先端理工学部),水原詞治(龍谷大学先端理工学部),片山裕美(八戸工業大学工学部),澤田剛(鹿児島大学先端科学研究推進センター)
P1-16	焼却飛灰からの90Sr溶出率測定と溶出機構に関する考察	○由井 和子(国立環境研究所),倉持 秀敏(国立環境研究所),大迫政浩(国立環境研究所)
P1-17	放電プラズマ焼結 (SPS) 法によるシンロック固化体の迅速固化処理	○丸山恵史(東京都市大学),野村知司(東京都市大学),牧涼介(岡山理科大学),中瀬正彦(東京工業大学),針貝美樹(東京工業大学),渡邊真太(東京工業大学),菊永英寿(東北大学),小林徹(日本原子力研究開発機構),桜木智史(原子力環境整備促進資金管理センター),浜田涼(原子力環境整備促進資金管理センター),朝野英一(原子力環境整備促進資金管理センター)
P1-18	福島県森林域の空間線量率及び立木放射性セシウム濃度の経時変化	○山村 充(国土防災技術株式会社),氏家亨(国土防災技術株式会社),井上美那(国土防災技術株式会社),赤間亮夫(国土防災技術株式会社)
P1-19	超構造を有するムラタイト基シンロック固化体の合成	○牧 涼介(岡山理科大学),草野圭弘(岡山理科大学)
P1-20	除去土壌等仮置場跡地の利用における被ばく線量評価	○日下部 一晃(福島県環境創造センター),小磯将広(福島県環境創造センター),野村直希(福井工業大学),井上正(一財) 電力中央研究所)
P1-21	小型流動床式燃焼試験装置の開発と木質燃焼における放射性Csの挙動	○倉持 秀敏(国立環境研究所),村沢 直治(福島県環境創造センター),日下部 一晃(福島県環境創造センター),小林 拓朗(国立環境研究所)
P1-22	原子力災害被災地域の環境記憶デジタルアーカイブ構築への取り組み	○保高 徹生(産業技術総合研究所),リヒンキ(産業技術総合研究所),高田モモ(産業技術総合研究所),藤田司(産業技術総合研究所),金井裕美子(産業技術総合研究所),坂原桜子(神戸大学),長野野規(神戸大学),北尾馨(Cube Works inc.)
P1-23	県外最終処分に関する社会受容性と取り組むべき課題に関する一考察	○保高 徹生(産業技術総合研究所),高田モモ(産業技術総合研究所),大沼進(北海道大学),村上道夫(大阪大学感染症総合教育研究拠点)
P1-24	FIB-TOF-SIMS による植物石への Cs 吸着の可視化	○川杉 昂大(工学院大学大学院工学研究科電気・電子工学専攻),森田真人(工学院大学先端工学部応用物理学科),坂本哲夫(工学院大学大学院工学研究科電気・電子工学専攻)

減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク  
環境放射能除染学会、中間貯蔵・環境安全事業株式会社共催

過去3回の成果発表会に続き、中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）が環境省から委託を受けて実施している「除去土壌等の減容等技術実証事業」（公募型技術実証事業）の最近の成果を広く情報発信する。また、地元で復興に取り組んでいる方々の参画をいただき、技術実証事業を始めとした中間貯蔵事業の意義を広く理解いただくとともに、今後への期待を伺い、将来の地域の復興に繋がる知のネットワークの在り方を議論する。

1. 中間貯蔵事業・技術実証事業の目的と成果
2. (仮題) 復興の視点からみた除去土壌等の減容化・再生利用について